

かけて安心

## 平成30年度 スポーツ安全保険

スポーツ・文化・ボランティア・地域活動など団体活動に最適な保険です。団体活動を行う4名以上のアマチュアの団体・グループでご加入ください。

### ◆対象となる事故

- ・団体での活動中の事故
- ・往復中の事故

### ◆保険期間

平成30年4月1日

～平成31年3月31日

※掛金・補償内容は区分によって異なります。

### ◆問い合わせ先

スポーツ安全協会鳥取県支部

☎0857・26・7802



## まちのたから (35) 文化財室通信

### シリーズ「日本遺産」

第9話

引き続き第3章、「大山信仰と牛馬市をささえた大山道と道沿いの人々の暮らし」のうち、川床道について紹介します。

#### 大山道「川床道」

川床道は、大山寺の東方約二キロメートル、阿弥陀川の岸边にある木地師の村として伝わる「川床」を経て東の番所に至ります。川床道は、大きく二本の道があり、一方は倉吉市関金宿方面から大休峠を越えて川床に通じる道、他方は伯耆往來の赤碕宿から大山町羽田井を経て川床に通じる道です。

#### 川床道沿線に残る大山信仰

一向ヶ平（琴浦町）から川床までの道のり（約9キ）は、「中国自然歩道」となっていて、豊かな自然の中を散策できます。大休峠の広場から川床に向かって出発するとすぐに目に飛び込んでくるのが石畳の道です。造りは素朴ながらもしっかりと石が組み合わされています。古道であるため、所々傷んでいる箇所もありますが「かつてこの道を牛馬が往來したのか」と思いを馳せながら歩



▲川床道の石畳道

くのも一興かもしれません。大山道沿いには、大山信仰の面影を感じるものが残されています。

江府町の下蚊屋や御机では、横手道沿いにかけて博労宿が軒を連ねていました。沿道には「大智明（大）権現」の名が刻まれた常夜灯や道行く人のための道標が現存しており、往時の様子が偲べれます。

#### 一息坂峠の湯茶接待

5月24日は、大山さんの祭日です。一息坂峠では、お茶や精進料理の接待を受けることができます。

元々は江戸時代中頃、瀬戸（北栄

町）の大庄屋である武信佐五右衛門が、大山詣りの人々をねぎらおうと、東積の直右衛門（小谷家の先祖）へ依頼したことが起源と伝わります。現在の節子さんと14代目。赤飯、タケノコ、フキ、ミョウガの煮物、お茶を用意し、立ち寄る人々に接待をされています。常連の方、テレビで見え念願の来訪の方、偶然道を通った方など、年に一度の再会と一期一会が、そこにあります。



▲宝暦11年から続く湯茶接待

今年度の大山町総合文化祭では、この接待を再現。一息坂峠でのおもてなしを感じる事ができました。大山信仰を今なお人の手で伝えていく、貴重な民俗行事です。

（人権・社会教育課 文化財室）